

【24】

テーマ 「子どもの自尊感情を高めるために、どのようなことができるか考える」

タイトル 「のばそう!子どものよさ」

【学習のポイント】

○自尊感情を高めることの意義を理解し、自尊感情を高めるための意識やスキルの向上を図る。

【すすめ方】(90分)

流れ	分	主な活動	主な発問等	留意点
導入	4	1 「自尊感情」について説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ■「自尊感情」という言葉をご存知でしょうか？ ■「自尊感情」が高いことによる傾向を紹介。 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な物事に取り組む意欲が高い傾向→学力も高い傾向 ・人の役に立ちたいと思っている傾向→規範意識も高い =いじめをしない・許さない(自他の尊重) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆類義語に「自己肯定感」、「自己有用感」などがある。ここでは、詳細には言及せず、「自尊感情」を「自分をかけがえのない(価値ある・大事な)存在と捉える気持ち」とする。
	2	2 活動のねらい、話合いのルールを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ■「まじめなおしゃべり」によって「テーマ」について理解を深める活動です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆おしゃべりのルール(参加・尊重・守秘)を確認する。
	10	3 アイスブレイク(アドジャン)	<ul style="list-style-type: none"> ■最初にグループメンバーと1分以内で自己紹介をしましょう。 ■アドジャンのルールを確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆グループの人数は1グループ4～5人とする。 ◆トークテーマはレジユメに記載するなどして提示しておく。 ◆アドジャンのルール・流れ <ul style="list-style-type: none"> ①じゃんけんと同じ要領で「アドジャン」のかけ声で0～5を指で示す。 ②合計数の1の位と同じ番号のトークテーマについて全員が話す。 ③次々とテンポよく繰り返す。(同じテーマはとばす)(4分) ④気になった話題について深掘り(おしゃべり)する。(2分)
展開I	4	4 子どもに対する気持ち等を振り返る。(I)	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもが生まれたとき(生まれる前や幼かったときを含めても良い)の子どもに対する気持ちや願いを思い出し、ピンクの付箋に書きましょう。 ■書いたことをグループで紹介し合いましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆忘れてしまった場合は想像でもよい。 ◆模造紙・付箋はあらかじめ配布しておく。
	4			

展開2	3	5 子どもに対する気持ち等を振り返る。(Ⅱ)	<p>■最近(ここ2~3日)、子どもにかけた「言葉」を思い出し、水色の付箋に書きましょう。</p>	<p>◆ぱっと思い浮かんだこと、あるいは印象に残っているもの。</p>
	6		<p>■その時の状況や感情などを補足しながら、書いたことをグループで紹介しましょう。</p>	
	4		<p>■ピンクと水色の付箋を見比べて感じたことについて話し合いましょう。</p>	
	4		<p>■付箋(ピンク・水色とも)を「自尊感情」を高めるものか、下げるものかに分けてみましょう。</p>	
展開3	4	6 場面設定に対して感じたことを話し合う。	<p>■自分の子どもが、①~③の行動をとったと仮定して、どのような声をかけるか、あるいはどんな気持ちになるかを黄色の付箋に書きましょう。場面設定で分からない状況等は自由に想像していただいて構いません。</p>	<p>◆場面設定は学校や地域の課題等に応じて設定してよい。</p> <p>◆実体験があればそれでよいが、実生活では考えにくい場合は想像でよい。</p>
	<p><場面設定例> ・学校から帰宅後、玄関に荷物を放り投げ、すぐさま遊びに出かけていった。</p> <p>・夕食中、ずっとオンラインゲームの話をしている。</p> <p>・夕食を終えたとたん、スマホを見たり操作したりするのに夢中になっている。</p>			
	8		<p>■声かけや気持ちについて、模造紙に書いた付箋を貼り、その理由や状況等を補足しながらグループで紹介しましょう。</p>	<p>◆シール(1人3~5枚)を配布しておく。</p>
	10		<p>■「自尊感情」を高めるために、どのように声かけをしたり、どのような気持ちでいたりしたらよいか、グループで話し合いましょう。</p>	
5	<p>■話し合われた内容で「自尊感情」を高めるのに良いなどと思われるものを、模造紙に書き込みましょう。</p>			
8	7 ギャラリーウォーク(他のグループを見て回る)	<p>■他のグループの意見を見て回り、「なるほど」「参考になった」というものにシールを貼りましょう。</p>		

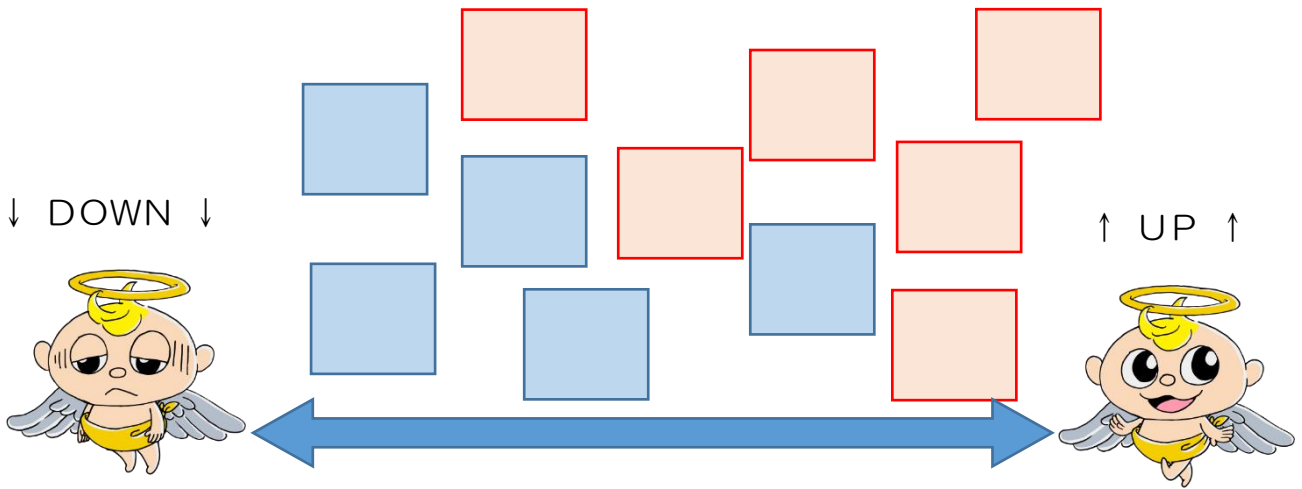
まとめ	5	8 気付いたことや感じたことをグループで話し合う。	■本日の活動を通して、気付いたことや考えたことをグループで話し合しましょう。	◆時間がある場合、グループで出されたコメントをシェアしてもよい。 ◆出来れば活動で出てきた意見や言葉を利用しながら。
	7	9 ファシリテーターによるまとめや感想等を聞く。		
<p>■「自尊感情」を高めるのに効果があることを紹介する。 例えば、認めること、感謝すること、自然体験、役割を与える（責任を持たせる）こと、褒めること ※他者と比較しない。（相対評価ではなく絶対評価）</p> <p>■状況等によっては「そうは言っても…」ということはあるかもしれないが、本活動で思い出したこと（子どもが生まれたときの気持ち等）、話合いの中で気づいたことなどを思い返して子どもと接してもらえたら。「子どものため」に言ったことも、そのことがきちんと子どもに伝わっているか考えてみるとよいのでは。 ※叱ること（子どものため）と怒ること（自分のため）は違う。</p>				
	2	10 感想（アンケート）を書く。		

【アドジャンのトークテーマ（例）】

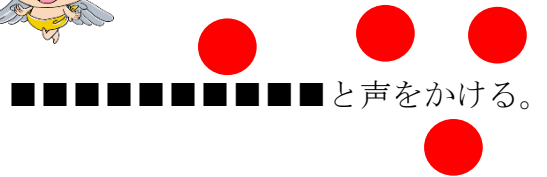
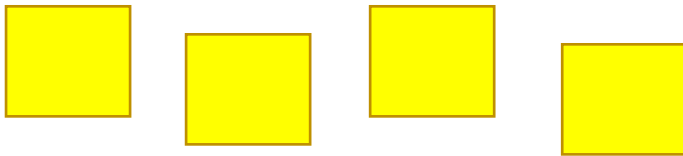
合計数	トークテーマ	合計数	トークテーマ
0(10, 20)	最近、うれしかったこと	5(15, 25)	好きな有名人
1(11, 21)	今、一番たのしみなこと	6(16, 26)	好きなテレビ番組（ネット含む）
2(12, 22)	もしも宝くじが当たったら…	7(17, 27)	好きな色
3(13, 23)	得意な（得意だった）教科・科目	8(18, 28)	好きな季節
4(14, 24)	好きな給食（弁当）のメニュー	9(19, 29)	好きな曜日

自尊心

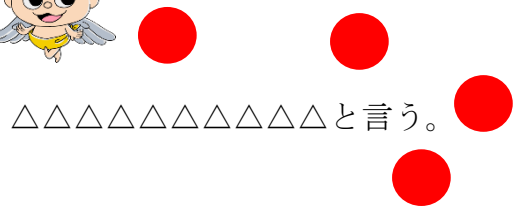
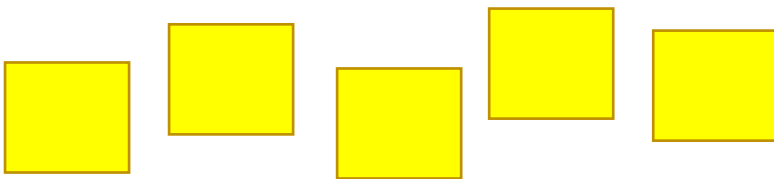
自分をかけがえのない存在と捉える気持ち



場面① 学校から帰宅後、玄関に荷物を放り投げ、すぐさま遊びに出かけていった。



場面② 夕食中、ずっとオンラインゲームの話をしている。



場面③ 夕食を終えたとたん、スマホを見たり操作したりするのに夢中になっている。

